

## 令和4年度小磯記念美術館事業点検評価の外部評価

### 【総括】

令和5年11月29日(水)に開催された標記協議会において、令和4年度の小磯記念美術館の事業点検評価を実施した結果、4つの事業項目のうちA評価が3つ(「資料」「研究報告」「広報・普及・啓発」)、B評価が1つ(「施設の管理運営」)となり、自己点検評価(TOTAL評価)と同じ判定となった。※評価はS・A・B・C・Dの5評価

### 【外部評価委員からの意見】

外部評価は下表のとおりだが、下の3点について指摘があった。

#### 1 事業点検評価の仕方の改善について

##### ① 評価項目

自己評価では、評価項目ごとの個別評価とそれらをトータルに見たときの評価に整合性が見られない。評価のウエイトが異なっているのかもしれないが、トータルな評価とみあうように評価項目を見直したほうがよい。

その際、美術館運営のすべてを網羅する望ましい評価を設定するのではなく、実際の担当者がその年度の目標として設定した項目にしぼって、その達成具合を測定するなどし、それが達成できない場合に何が足りないかが明確になり、将来につながるような評価方法を検討してほしい。

##### ② 評価方法

現状のA、B、Cのような記号評価は、A評価に落ち着く傾向がある。その場合、担当者が満足してしまい、チャレンジにつながらない欠点がある。

そうした観点から1～5などの数値評価を導入したほうがよい。

#### 2 SNSによる広報について

来館者の中心は高齢者層であるが、若者へのアプローチが重要なので、SNSに注力する必要がある。現状では、ツイッター、フェイスブックだけを実施しているが、大学生とコラボするなど工夫して、若い人に需要が多いインスタグラムを取り入れたほうがよい。

#### 3 施設管理

施設面では、老朽化しているので大規模工事が必要と思うが、特に空調は美術館にとって重要であるから十分な対応をするようお願いしたい。

今年度後半から来年の初めに、自家発電、エレベーター、展示室・事務室の床面、アトリエ、空調などの工事を予定している。今後も予算を確保しながら休館期間を最小限にしたうえで、少しずつ工事を予定する予定である。

小磯記念美術館外部評価集計表（令和4年度）

事業項目	評価項目	点検評価項目	外部評価	
		判定概要	委員評価	
			小項目評価	事業項目評価
資料	収集保管	どのような資料を受け入れましたか？ （新規所蔵）	B	A
		〃 （寄託）		
		収蔵庫・展示室他の保存環境は適切な状況を保てましたか？		
		所蔵・寄託資料の管理は適切に行いましたか？		
	展示活用	どのような資料補修を行いましたか？	A	
		常設展はどのように開催しましたか？ （企画・展示）		
		〃 （来館者）		
		〃 （入館者数）		
		常設展はどのように開催しましたか？ （企画・展示）		
		〃 （来館者）		
		〃 （入館者数）		
		特別展はどのように開催しましたか？ （企画・展示）		
		〃 （来館者）		
		〃 （入館者数・収支）		
研究報告	特別展はどのように開催しましたか？ （企画・展示）	A		
	〃 （来館者）			
広報・普及・啓発	学芸員による調査研究の発表（論文・記事・外部講演他）はどのようなものがありましたか？	A	A	
	出版物（年報・目録他）はどのように行いましたか？			
	公式HPでの情報・コンテンツ発信はどのように行いましたか？	A	A	
	SNSではどのように情報発信を行いましたか？			
	広報活動はどのように行いましたか？			
	美術講座や展覧会関係の講演などはどのようなものがありましたか？			
	普及活動（ワークショップ型・ツアー型）はどのように行いましたか？			
	資料の館外貸出の状況はどうでしたか？			
	特別利用・画像利用の状況はどうでしたか？			
	学校関係の来館にはどのように対応しましたか？			
	連携授業などのアウトリーチ活動はどのように行いましたか？			
	子供向けコンテンツはどのようなものを製作しましたか。			
	子供向け事業はどのように開催されましたか？			
地域との連携事業はどのように行われましたか？				
施設の管理運営	建物・設備の状況はどうなっていますか？	B	B	
	施設についての問題点の改善や、将来の不具合を想定した対策はどのように行われましたか？			
	警備事業、清掃事業はどのように行いましたか？			
	インフォメスタッフによる館内案内・券売・ショップをどのように運営しましたか？			
	施設の管理運営に関する職員等への教育はどのようになっていますか？			